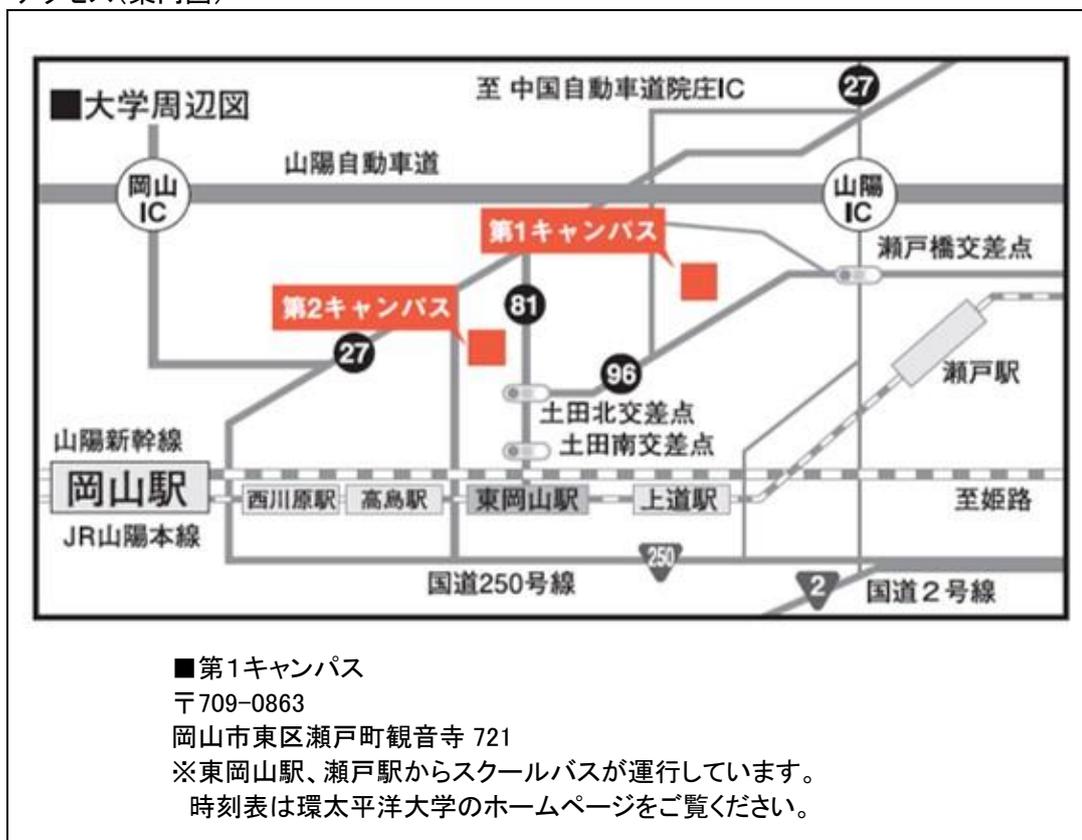


(8)環太平洋大学

① 開講期間・試験期間・授業時間

開講期間	前期	2026年4月8日	～	2026年7月17日
	後期	2026年9月24日	～	2027年1月25日
試験期間	前期	2026年7月22日	～	2026年7月24日
	後期	2027年1月27日	～	2027年1月29日
授業時間	1限	8:50	～	10:30
	2限	10:45	～	12:25
	3限	13:05	～	14:45
	4限	15:00	～	16:40
	5限	16:55	～	18:35

② アクセス(案内図)



③ 担当窓口

教務課
所在地: 岡山市東区瀬戸町観音寺 721 ディスカバリー1階
電話: 086-201-3151

④ 開講大学から単位互換履修生への連絡事項

・履修申込期限

本学では、以下のとおり受け付けます。
後期:9月16日(水)まで

・ 履修手続

履修を許可された学生は、受入大学の担当窓口で履修手続き等の指示を受けてください。

・ 施設利用

1. 環太平洋大学在学の学生と同じ扱いとします。
2. 以下を配付します。
 - ①学生証(単位互換履修生) (学生支援センター)
3. 図書館・学食等の利用が可能です。図書館の利用方法は、図書館カウンターで、単位互換履修生証を提示してお尋ねください。

・ 特記事項

⑤ 各科目のシラバス

大学ホームページ シラバス掲載URL

<https://unipa-rx.ipu-japan.ac.jp/uprx/up/pk/pky001/Pky00101.xhtml>

オンデマンド授業				08101																												
スポーツバイオメカニクス			佐藤 伸之																													
SPORTS BIOMECHANICS																																
履修年次:2~4年	2単位	後期	1コマ	定員:若干名																												
【授業の目的】 身体の動く仕組みを物理学的にアプローチする学問をバイオメカニクスという。本授業では、スポーツ現場でのバイオメカニクスについて学び、スポーツバイオメカニクスの基礎を理解し、身体運動の背景を力学的に捉えることができるようにする。さらに自身が指導者になるうえでのコーチング現場でのバイオメカニクスの応用について学び、自身の考えをまとめる。																																
【授業内容】 <table border="0"> <tr> <td>1. ガイダンス、スポーツバイオメカニクスについて</td> <td>授業の流れの説明、バイオメカニクスの基礎、スポーツバイオメカニクスの視点について</td> </tr> <tr> <td>2. 人体の動く仕組み</td> <td>ヒトの骨格系、関節、関節運動の可動域について</td> </tr> <tr> <td>3. 運動と力</td> <td>運動の法則、力の性質について</td> </tr> <tr> <td>4. 並進運動</td> <td>身体運動の運動学的記述、変位・速度・加速度について</td> </tr> <tr> <td>5. 回転運動</td> <td>角変位・角速度・角加速度について、並進運動と回転運動の関係について</td> </tr> <tr> <td>6. 流体力学</td> <td>流体の抗力と揚力について、浮力、マグヌス効果について</td> </tr> <tr> <td>7. スポーツバイオメカニクスのコーチングへの応用①</td> <td>さまざまなコーチング現場への応用について①</td> </tr> <tr> <td>8. 走る動作のバイオメカニクス①</td> <td>歩行と走行の違いについて、ストライド・ピッチの関係、その他歩行・走行動作について</td> </tr> <tr> <td>9. 走る動作のバイオメカニクス②</td> <td>歩行と走行の違いについて、ストライド・ピッチの関係、その他歩行・走行動作について</td> </tr> <tr> <td>10. 跳ぶ動作のバイオメカニクス①</td> <td>跳躍の基礎、垂直跳について、走り幅跳び・走り高跳びのバイオメカニクス</td> </tr> <tr> <td>11. 投げる動作のバイオメカニクス</td> <td>投動作のバイオメカニクス、野球の投動作ややり投げの投動作について</td> </tr> <tr> <td>12. 打つ動作のバイオメカニクス</td> <td>野球の打撃動作やテニスの打撃動作について</td> </tr> <tr> <td>13. スポーツバイオメカニクスのコーチングへの応用②</td> <td>さまざまなコーチング現場への応用について②</td> </tr> <tr> <td>14. まとめ、振り返り、課題レポート提示</td> <td>これまでの授業の振り返りやまとめ、最終課題レポート提示</td> </tr> </table>					1. ガイダンス、スポーツバイオメカニクスについて	授業の流れの説明、バイオメカニクスの基礎、スポーツバイオメカニクスの視点について	2. 人体の動く仕組み	ヒトの骨格系、関節、関節運動の可動域について	3. 運動と力	運動の法則、力の性質について	4. 並進運動	身体運動の運動学的記述、変位・速度・加速度について	5. 回転運動	角変位・角速度・角加速度について、並進運動と回転運動の関係について	6. 流体力学	流体の抗力と揚力について、浮力、マグヌス効果について	7. スポーツバイオメカニクスのコーチングへの応用①	さまざまなコーチング現場への応用について①	8. 走る動作のバイオメカニクス①	歩行と走行の違いについて、ストライド・ピッチの関係、その他歩行・走行動作について	9. 走る動作のバイオメカニクス②	歩行と走行の違いについて、ストライド・ピッチの関係、その他歩行・走行動作について	10. 跳ぶ動作のバイオメカニクス①	跳躍の基礎、垂直跳について、走り幅跳び・走り高跳びのバイオメカニクス	11. 投げる動作のバイオメカニクス	投動作のバイオメカニクス、野球の投動作ややり投げの投動作について	12. 打つ動作のバイオメカニクス	野球の打撃動作やテニスの打撃動作について	13. スポーツバイオメカニクスのコーチングへの応用②	さまざまなコーチング現場への応用について②	14. まとめ、振り返り、課題レポート提示	これまでの授業の振り返りやまとめ、最終課題レポート提示
1. ガイダンス、スポーツバイオメカニクスについて	授業の流れの説明、バイオメカニクスの基礎、スポーツバイオメカニクスの視点について																															
2. 人体の動く仕組み	ヒトの骨格系、関節、関節運動の可動域について																															
3. 運動と力	運動の法則、力の性質について																															
4. 並進運動	身体運動の運動学的記述、変位・速度・加速度について																															
5. 回転運動	角変位・角速度・角加速度について、並進運動と回転運動の関係について																															
6. 流体力学	流体の抗力と揚力について、浮力、マグヌス効果について																															
7. スポーツバイオメカニクスのコーチングへの応用①	さまざまなコーチング現場への応用について①																															
8. 走る動作のバイオメカニクス①	歩行と走行の違いについて、ストライド・ピッチの関係、その他歩行・走行動作について																															
9. 走る動作のバイオメカニクス②	歩行と走行の違いについて、ストライド・ピッチの関係、その他歩行・走行動作について																															
10. 跳ぶ動作のバイオメカニクス①	跳躍の基礎、垂直跳について、走り幅跳び・走り高跳びのバイオメカニクス																															
11. 投げる動作のバイオメカニクス	投動作のバイオメカニクス、野球の投動作ややり投げの投動作について																															
12. 打つ動作のバイオメカニクス	野球の打撃動作やテニスの打撃動作について																															
13. スポーツバイオメカニクスのコーチングへの応用②	さまざまなコーチング現場への応用について②																															
14. まとめ、振り返り、課題レポート提示	これまでの授業の振り返りやまとめ、最終課題レポート提示																															
【テキスト】 なし																																
【参考図書】 <table border="0"> <tr> <td>著者: 深代千之ほか編著</td> <td>書名: スポーツバイオメカニクス</td> <td>出版社: 朝倉書店</td> </tr> <tr> <td>著者: 深代千之ほか</td> <td>書名: スポーツ動作の科学-バイオメカニクスで読み解く</td> <td>出版社: 東京大学出版会</td> </tr> <tr> <td>著者: 山本澄子ほか</td> <td>書名: 基礎バイオメカニクス</td> <td>出版社: 医歯薬出版株式会社</td> </tr> <tr> <td>著者: 宮西智久ほか</td> <td>書名: はじめて学ぶ 健康・スポーツ科学 シリーズ スポーツバイオメカニクス</td> <td>出版社: 化学同人</td> </tr> </table>					著者: 深代千之ほか編著	書名: スポーツバイオメカニクス	出版社: 朝倉書店	著者: 深代千之ほか	書名: スポーツ動作の科学-バイオメカニクスで読み解く	出版社: 東京大学出版会	著者: 山本澄子ほか	書名: 基礎バイオメカニクス	出版社: 医歯薬出版株式会社	著者: 宮西智久ほか	書名: はじめて学ぶ 健康・スポーツ科学 シリーズ スポーツバイオメカニクス	出版社: 化学同人																
著者: 深代千之ほか編著	書名: スポーツバイオメカニクス	出版社: 朝倉書店																														
著者: 深代千之ほか	書名: スポーツ動作の科学-バイオメカニクスで読み解く	出版社: 東京大学出版会																														
著者: 山本澄子ほか	書名: 基礎バイオメカニクス	出版社: 医歯薬出版株式会社																														
著者: 宮西智久ほか	書名: はじめて学ぶ 健康・スポーツ科学 シリーズ スポーツバイオメカニクス	出版社: 化学同人																														
【講義会場等】 オンデマンド授業																																
【成績評価の方法】 毎回の課題 60%、期末レポート課題 40%																																

対面授業				08001		
社会学概論			濱嶋 幸司			
INTRODUCTION TO SOCIOLOGY						
履修年次:2~4年	2単位	後期	1コマ	定員:若干名		
【授業の目的】 社会学概論では、社会学の基礎的な考え方、理論、用語を学ぶ。社会学という学問に触れるのではなく、現代社会をフィールドに、人々の生活(ライフ)と人生(キャリア)の送り方を社会学の視点を使って読みとく。社会学には独特の思考、手法があり、当たり前の日常に対して距離を取ることで、これまでの見え方とは異なる(複眼的、鳥瞰的)姿を確認することができる。履修者とは社会学の面白さと人生の多様さ、多彩さ、自ら築き上げることのできる楽しさを共有する。各回の進め方は、前半 50 分に社会学の概念や理論を時事問題に絡めて諸学説の説明・小課題①実施とし、後半 50 分は人生の各主要局面に主眼を置いた説明・小課題②実施とする。						
【授業内容】 <table border="0"> <tr> <td style="vertical-align: top;"> 【第 01 回】イントロダクション :今という時代をどう生きるか? 【第 02 回】社会学のキーワード紹介 現代社会での人生①:働く 【第 03 回】社会学の理論紹介 現代社会での人生①:福祉社会で生きる 【第 04 回】時事ニュースから 現代社会での人生①:階層社会 【第 05 回】時事ニュースから 就職して「社会人」になる②:就活 【第 06 回】時事ニュースから 就職して「社会人」になる②:異動と昇進 【第 07 回】前半の振り返り 中間試験(60分) 【第 08 回】時事ニュースから 就職して「社会人」になる②:アルバイト 【第 09 回】時事ニュースから 就職して「社会人」になる②:貧困 【第 10 回】時事ニュースから 就職して「社会人」になる②:地域密着 【第 11 回】時事ニュースから 「普通の人生」はあるのか③:未婚・結婚 【第 12 回】時事ニュースから 「普通の人生」はあるのか③:親になる 【第 13 回】時事ニュースから 「普通の人生」はあるのか③:介護 【第 14 回】人生 100 年時代をどう生きるか 最終試験(60分) </td> <td style="vertical-align: top; padding-left: 20px;"> ・科目のねらい、到達目標、授業の進め方、成績評価基準を説明 ・社会学とは? ・主要概念説明(行為・権力・文化・機能的統合・社会構造) ・日本の資本主義社会で働くということ、雇用慣行、雇用システム ・主要理論説明(機能理論・闘争理論・象徴的相互作用理論) ・誰と助け合うか、日本の社会保障・社会福祉の形成 ・直近のニュースを社会的に分析し、説明(ウェーバー学説) ・格差社会とライフコース、社会階層論の基本的な考え方 ・直近のニュースを社会的に分析し、説明(デュルケム学説) ・新卒一括定期採用、日本型雇用システムと大衆教育社会 ・直近のニュースを社会的に分析し、説明(マルクス学説) ・昇進・異動をめぐる企業と人、長期雇用、キャリア選択 ・第 1 回～第 6 回までの復習 ・テスト実施 ・直近のニュースを社会的に分析し、説明(ミード学説) ・雇用形態、正規雇用、非正規雇用、キャリアの違い ・直近のニュースを社会的に分析し、説明(マートン学説) ・日本の貧困、戦後→バブル→失われた 30 年、立ち向かい方 ・直近のニュースを社会的に分析し、説明(シカゴ都市社会学) ・地方移住、コミュニティ、都市化、郊外化、過疎化、限界集落 ・直近のニュースを社会的に分析し、説明(ギデンズ学説) ・親子のライフコース、近代家族と婚姻制度、これからの結婚 ・直近のニュースを社会的に分析し、説明(ゴフマン学説) ・「母親らしさ」「父親らしさ」、出産育児、ジェンダー、多様な性 ・直近のニュースを社会的に分析し、説明(ガーフィンケル学説) 親の介護は誰が担う、多様化する介護問題、仕事との両立 ・少子高齢社会のライフ&キャリア、年、社会を生き抜く技法 ・主に第 7～13 回でテスト実施 </td> </tr> </table>					【第 01 回】イントロダクション :今という時代をどう生きるか? 【第 02 回】社会学のキーワード紹介 現代社会での人生①:働く 【第 03 回】社会学の理論紹介 現代社会での人生①:福祉社会で生きる 【第 04 回】時事ニュースから 現代社会での人生①:階層社会 【第 05 回】時事ニュースから 就職して「社会人」になる②:就活 【第 06 回】時事ニュースから 就職して「社会人」になる②:異動と昇進 【第 07 回】前半の振り返り 中間試験(60分) 【第 08 回】時事ニュースから 就職して「社会人」になる②:アルバイト 【第 09 回】時事ニュースから 就職して「社会人」になる②:貧困 【第 10 回】時事ニュースから 就職して「社会人」になる②:地域密着 【第 11 回】時事ニュースから 「普通の人生」はあるのか③:未婚・結婚 【第 12 回】時事ニュースから 「普通の人生」はあるのか③:親になる 【第 13 回】時事ニュースから 「普通の人生」はあるのか③:介護 【第 14 回】人生 100 年時代をどう生きるか 最終試験(60分)	・科目のねらい、到達目標、授業の進め方、成績評価基準を説明 ・社会学とは? ・主要概念説明(行為・権力・文化・機能的統合・社会構造) ・日本の資本主義社会で働くということ、雇用慣行、雇用システム ・主要理論説明(機能理論・闘争理論・象徴的相互作用理論) ・誰と助け合うか、日本の社会保障・社会福祉の形成 ・直近のニュースを社会的に分析し、説明(ウェーバー学説) ・格差社会とライフコース、社会階層論の基本的な考え方 ・直近のニュースを社会的に分析し、説明(デュルケム学説) ・新卒一括定期採用、日本型雇用システムと大衆教育社会 ・直近のニュースを社会的に分析し、説明(マルクス学説) ・昇進・異動をめぐる企業と人、長期雇用、キャリア選択 ・第 1 回～第 6 回までの復習 ・テスト実施 ・直近のニュースを社会的に分析し、説明(ミード学説) ・雇用形態、正規雇用、非正規雇用、キャリアの違い ・直近のニュースを社会的に分析し、説明(マートン学説) ・日本の貧困、戦後→バブル→失われた 30 年、立ち向かい方 ・直近のニュースを社会的に分析し、説明(シカゴ都市社会学) ・地方移住、コミュニティ、都市化、郊外化、過疎化、限界集落 ・直近のニュースを社会的に分析し、説明(ギデンズ学説) ・親子のライフコース、近代家族と婚姻制度、これからの結婚 ・直近のニュースを社会的に分析し、説明(ゴフマン学説) ・「母親らしさ」「父親らしさ」、出産育児、ジェンダー、多様な性 ・直近のニュースを社会的に分析し、説明(ガーフィンケル学説) 親の介護は誰が担う、多様化する介護問題、仕事との両立 ・少子高齢社会のライフ&キャリア、年、社会を生き抜く技法 ・主に第 7～13 回でテスト実施
【第 01 回】イントロダクション :今という時代をどう生きるか? 【第 02 回】社会学のキーワード紹介 現代社会での人生①:働く 【第 03 回】社会学の理論紹介 現代社会での人生①:福祉社会で生きる 【第 04 回】時事ニュースから 現代社会での人生①:階層社会 【第 05 回】時事ニュースから 就職して「社会人」になる②:就活 【第 06 回】時事ニュースから 就職して「社会人」になる②:異動と昇進 【第 07 回】前半の振り返り 中間試験(60分) 【第 08 回】時事ニュースから 就職して「社会人」になる②:アルバイト 【第 09 回】時事ニュースから 就職して「社会人」になる②:貧困 【第 10 回】時事ニュースから 就職して「社会人」になる②:地域密着 【第 11 回】時事ニュースから 「普通の人生」はあるのか③:未婚・結婚 【第 12 回】時事ニュースから 「普通の人生」はあるのか③:親になる 【第 13 回】時事ニュースから 「普通の人生」はあるのか③:介護 【第 14 回】人生 100 年時代をどう生きるか 最終試験(60分)	・科目のねらい、到達目標、授業の進め方、成績評価基準を説明 ・社会学とは? ・主要概念説明(行為・権力・文化・機能的統合・社会構造) ・日本の資本主義社会で働くということ、雇用慣行、雇用システム ・主要理論説明(機能理論・闘争理論・象徴的相互作用理論) ・誰と助け合うか、日本の社会保障・社会福祉の形成 ・直近のニュースを社会的に分析し、説明(ウェーバー学説) ・格差社会とライフコース、社会階層論の基本的な考え方 ・直近のニュースを社会的に分析し、説明(デュルケム学説) ・新卒一括定期採用、日本型雇用システムと大衆教育社会 ・直近のニュースを社会的に分析し、説明(マルクス学説) ・昇進・異動をめぐる企業と人、長期雇用、キャリア選択 ・第 1 回～第 6 回までの復習 ・テスト実施 ・直近のニュースを社会的に分析し、説明(ミード学説) ・雇用形態、正規雇用、非正規雇用、キャリアの違い ・直近のニュースを社会的に分析し、説明(マートン学説) ・日本の貧困、戦後→バブル→失われた 30 年、立ち向かい方 ・直近のニュースを社会的に分析し、説明(シカゴ都市社会学) ・地方移住、コミュニティ、都市化、郊外化、過疎化、限界集落 ・直近のニュースを社会的に分析し、説明(ギデンズ学説) ・親子のライフコース、近代家族と婚姻制度、これからの結婚 ・直近のニュースを社会的に分析し、説明(ゴフマン学説) ・「母親らしさ」「父親らしさ」、出産育児、ジェンダー、多様な性 ・直近のニュースを社会的に分析し、説明(ガーフィンケル学説) 親の介護は誰が担う、多様化する介護問題、仕事との両立 ・少子高齢社会のライフ&キャリア、年、社会を生き抜く技法 ・主に第 7～13 回でテスト実施					
【テキスト】 なし						
【参考図書】 著者:西村純子・池田心豪 書名:『社会学で考えるライフ&キャリア』 出版社:中央経済社(2023)						
【講義会場等】 環太平洋大学 第 1 キャンパス 講義室						
【成績評価の方法】 各回で実施する小課題①と②(40%)、中間試験(30%)、最終試験(30%)						

大学コンソーシアム岡山 単位互換履修科目履修願

所属大学の 受付番号	
受入大学の 受付番号	

* 学生は太枠内のみ記入

環太平洋大学長 殿

提出日	年	月	日
ふりがな			
氏名			印

写真 貼付

この度、貴学において単位互換履修生として下記の科目を履修したいので、許可をお願いいたします。

所属大学等					
学部・学科・学年	学部			学科	年
学生番号		性別	生年 月日	西暦 年	
		男・女		昭和・平成	年
現住所	〒 — Tel () —				
メールアドレス					

* 履修受付締切日：【先着順】後期：9月16日(水)まで

* 区分(教養/専門)：開講大学の区分を示しています。受講生の所属大学における区分については、申込みの際に所属大学で確認してください。

No	授業科目	区分	担当教員	単位	開講期	配当学年	備考	曜日・時限	履修希望	評価
遠隔授業科目										
08101	スポーツバイオメカニクス	専門	佐藤 伸之	2	後期	2~4	オンデマンド 定員：若干名	水 10:45~12:25	<input type="checkbox"/>	
対面授業科目										
08001	社会学概論	専門	濱嶋幸司	2	後期	2~4	定員：若干名	金 13:05~14:45	<input type="checkbox"/>	

写真提出枚数 (カラー, 4 cm × 3 cm, 裏面に大学名・氏名を記入する)	単位互換科目 履修願用(本紙)	身分証明書用	学生原簿用	計
	1 枚	0 枚	0 枚	1 枚